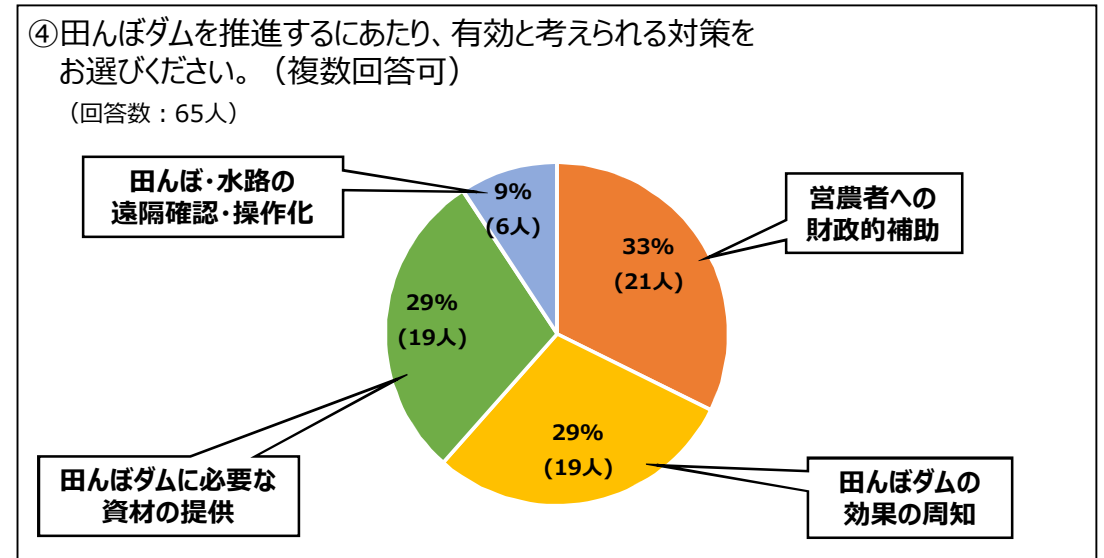
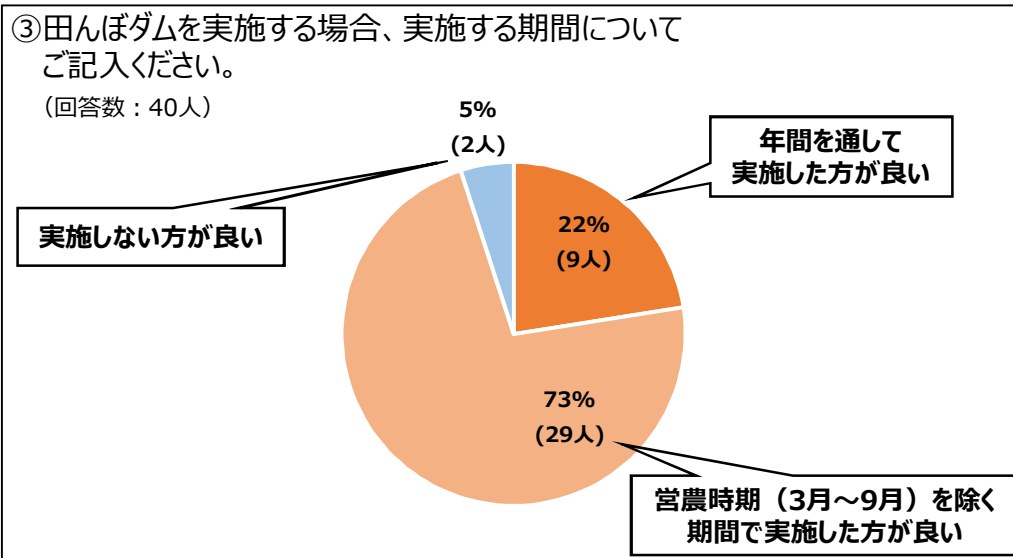
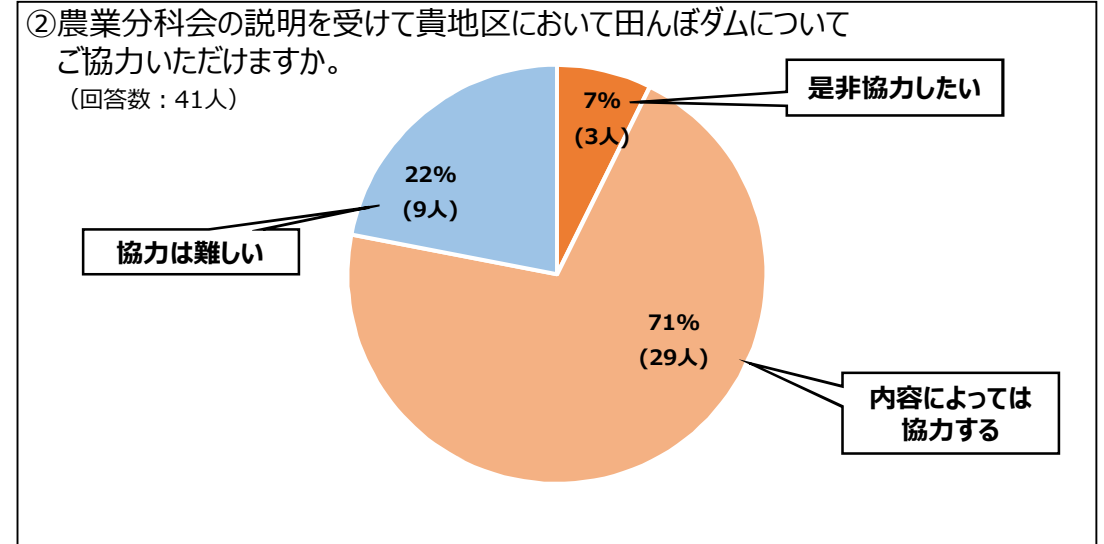
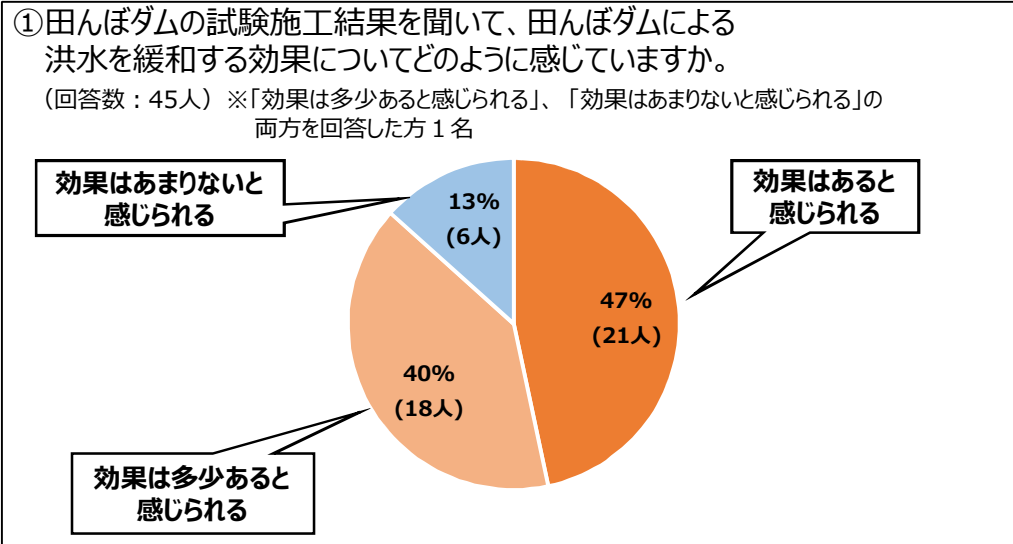


**茂原市部会 農業分科会 アンケート集計結果**  
**茂原市部会 自治分科会 アンケート集計結果**

## 1) 流域治水に対する取り組みについて

今後、茂原市域において流域治水を推進するにあたり、下記事項について、委員の皆様のお考え等をお聞かせください。



<p><b>「②農業分科会の説明を受けて貴地区において田んぼダムについてご協力いただけますか。」の回答に対する理由</b></p>	<p><b>「③農業分科会の説明を受けて貴地区において田んぼダムについてご協力いただけますか。」の回答に対する理由</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>是非協力したい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度のような水害が発生しないよう、皆で協力して治水についての地域づくりをしたい。</li> <li>・取り組みについては協力したいが、耕作者へのデメリットのない対応が不可欠である。(※早野水利組合回答)</li> </ul> </li> <li>● <b>内容によっては協力する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年々入耕作者が増え、入耕作者は耕作面積が広いためか、期間が過ぎる又は徹底が難しい。(期間は営農期間を除く9月～11月の台風シーズンでは)</li> <li>・当地域は平坦地で、排水路と田んぼの高低差があまりない地域もある。</li> <li>・稲わら処理について対策が必要なため。</li> <li>・問題点は集積されたごみの対応である。排水路の維持管理、ダムの影響も検討されたい。</li> <li>・地元耕作者が減少し、他地区の借受人耕作者が多いため、地主の判断だけでは難しいと思われる。十分なデータ等を示し、地域全体の推進体制を構築する必要があると思います。(総論賛成・各論反対とならないため)</li> <li>・個人個人に負担が分散できれば協力できると思う。</li> <li>・農地の管理者(農家)にソフト面のサポートの必要性があります。</li> <li>・地域の住民、農民の協力を得やすい内容なら。</li> <li>・地区全体のことなので、耕地者の同意が必要。</li> <li>・長生農業事務所説明の「田んぼダムの問題点」を解決しないと、農家の方々には理解を得られないと思います。(メリットが無い)</li> <li>・効果、対策内容、費用負担補助等の内容が良く分からない。</li> <li>・今後の説明を聞いてから。</li> </ul> </li> <li>● <b>協力は難しい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休耕地が多く、荒れた土地が多い。(当地区)</li> <li>・現状は土地改良されず昔の状態です。山に囲まれた田んぼです。</li> <li>・整備済み小区画の為、皆さんが協力してくれるか？(担い手委託者いる為)</li> <li>・当保全会の構成人数(少人数)及び活動員の高齢化により、農業経営意欲も低下しており、「田んぼダム」に係る構造物(排水口部)を新設する体制を保全会内で組むことは困難と思われる。(なお、流域治水上、田んぼダムの効果は理屈上は十分理解できる)</li> <li>・環境保全会は5年サイクルで活動しており、先のことは分からない。</li> <li>・田んぼダムにすることで、ジャンボダニシの繁殖等を助長することが懸念される。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>年間を通して実施した方が良い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ水害が発生するか分からないので、年間を通じて考えた方がよいと思います。</li> <li>・異常気象が増加しているので・・・</li> <li>・台風が夏から発生するため。</li> <li>・早くに進めた方がよいと思う、営農時期も納得をしてもらう。</li> <li>・営農時期は難しいところもありますが、一年を通じて行うのがよいと思う。</li> <li>・管理体制が整えば、営農(稲作)期間に限らず、年間ベースの取り組みが好ましい。(※早野水利組合回答)</li> </ul> </li> <li>● <b>営農時期(3月～9月)を除く期間で実施した方が良い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積苗期は稲が冠水してしまうから。</li> <li>・営農期間中は、生育不良等を勘案。</li> <li>・この期間は組合員からの苦情が多い。</li> <li>・ジャンボダニシの繁殖。</li> <li>・自分の収入を減らしてまで治水に協力してくれないと思う。(本来は年間通した方がよい)</li> <li>・田んぼダムの設置(排水口に堰を設ける?)については営農時期を除く期間で実施した方がよいですが、田んぼダムを行う期間としては年間を通して実施した方がよいと考えます。</li> <li>・営農中の管理は、個人差等があり、統一することは難しいと思う。</li> <li>・稲の生育期刈り取り前などの時期の大雨時に「田んぼダム」を機能させるのは困難と思われるし、ここで発生する農作物被害は、農業災害被害と認められない点も問題あると思われます。「田んぼダム」を法的に認められるように制度化する必要があるのではないかと。</li> <li>・稲刈り時期が10月～11月初旬となる方もいるなど、課題も多い。地域の水田全体をダム化することは、営農者(借受人含む)への周知、理解を推進することが第一歩ではないかと。</li> <li>・稲刈りの時期(8月～9月)に、放水(水位調整)が難しいため。</li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>「④田んぼダムを推進するにあたり、有効と考えられる対策をお選びください。(複数回答可)」の自由記入欄</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的機能支払交付金において「田んぼダム」を実施した場合の加算措置が3年度から設定されたが、多面的機能の組織がない場合の取り扱いについて。</li> <li>・ほ場整備の推進。</li> <li>・畦畔の崩落防止及び運用のため暗渠排水。</li> <li>・これ以上水田を減少させない、埋め立てしないよう農業委員会との連携必要。</li> <li>・豪雨災害時、ドローン等で上空から水位の状況、水の流れ等を把握し、次の災害対策に役立てたら良いと思う。</li> <li>・稲わらの押し寄せについて。</li> <li>・大雨が降れば、田んぼが調整池のようになってしまう。すべてが、田んぼダムの適地と思われぬ為、その辺を検証するなり、地元の意見を聞いてはどうか。</li> <li>・個々の考え方が強いので十分な説明が必要。</li> </ul>

## 2) 今後、茂原市域の流域治水を進めるにあたり、ご意見等があればご記入ください。

- ・今後もこのような活動を実施してもらいたい。
- ・今回データでの説明がありましたが、農家だけでなく、地域住民に対して茂原全体での災害の結果を田んぼダムが協力した数値を出していただければありがたいです。
- ・関係者の協力を求めることが大事。
- ・下流の町村、両総管理組合等との協議が必要。
- ・当地域では、上流部よりの大雨による流水が増え、用水路、川（豊田川と思われる）の越水がたびたび起こる。上流域との全体の流れが必要。
- ・排水機能を喪失した施設（排水路）が多い。
- ・近年は、森林を切り拓いて、太陽光発電も多くなり、排水のないところにも設置されており、市の方では指導要綱はあるものの検査がなされていない為、適正な生成がなされていない。
- ・河川災害対策が遅々として進まない中、急に「田んぼに貯留」という考え方がクローズアップしており、災害防止の方法として、農政サイドへの圧力が高くなってしまっている。「田んぼダム」を拡大するならば、営農者への財政補助や、「田んぼダム」を土地改良法等に法的なものとして規定する必要があるのではないか。
- ・河川整備が大事だと思います。
- ・一宮川流域は川幅を広げなければ永久に解決しないのでは？

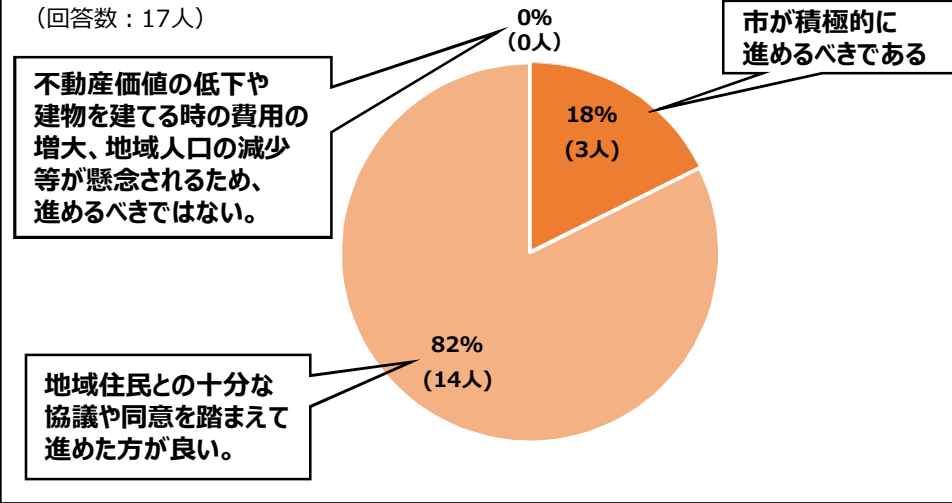
回収率：77% 回答者数：17人／全22人

## 1) 流域治水に対する取り組みについて

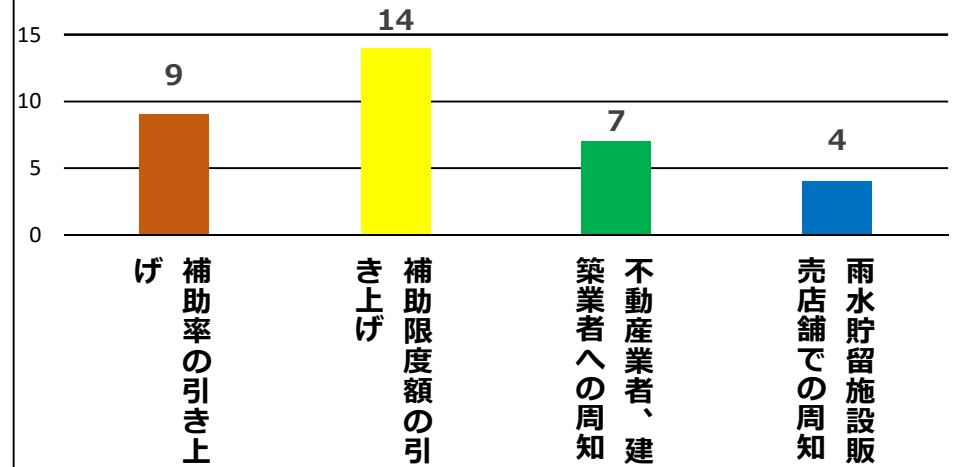
今後、茂原市域において流域治水を推進するにあたり、下記事項について、委員の皆様のお考え等をお聞かせください。

①宮崎市の事例のように「水害による危険性の高い区域に建築制限をかける」ことについて、どのように考えますか。

(回答数：17人)

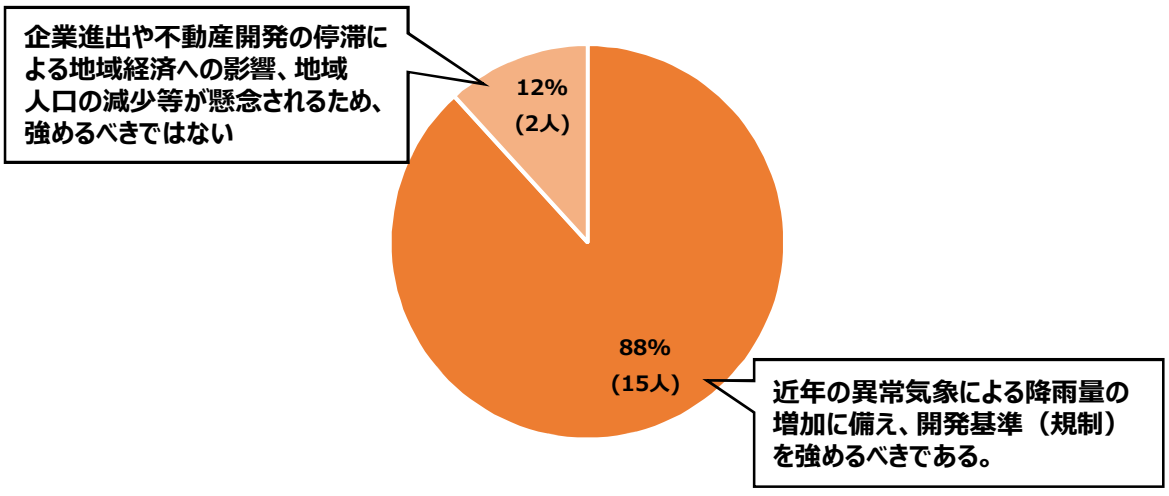


②雨水貯留施設（雨水貯留タンク、雨水浸透枳）の設置促進にあたり、設置数増加のために有効と考えられる対策をお選びください。（複数回答可）



③「宅地開発等における貯留対策の基準」について、どのように考えますか。

(回答数：17人)



**「①宮崎市の事例のように「水害による危険性の高い区域に建築制限をかける」ことについて、どのように考えますか。」の自由記入欄**

- **市が積極的に進めるべきである。**
- ・クリアできれば、OKの基準を作成すべき
- ・地域住民に十分な説明をし、意見を聞いて進めるべき。出た意見でできるもの（可能なもの）は取り入れるべき。
  
- **地域住民との十分な協議や同意を踏まえて進めた方が良い。**
- ・地域住民の啓発活動が大事だと考えられる。
- ・2019年10月25日の雨により当自治会は42/400世帯が被害にあって5/42世帯が引越しをしました。内2世帯は緑が丘の空き家を購入しました。補助金が出たそうですが、補助金のPRと増額をお願いしたい。なお、高齢化が進んでいるので、場所を変えて家を新築することは考えていない。（多数の意見）
- ・宮崎市は参考にならないと思います。
- ・市と地域住民が十分納得できるような内容、実施する形をとる必要がある。
- ・住民との信頼関係が必要かも。
- ・危険区域の判断基準等や増々、高齢化、独居世帯が多くなる等、多くの課題があると考えられますが、地域と協働で地区計画、建築協定等、前向きな検討を望みます。
- ・水害がある事を知らないで購入した人は気の毒である。
- ①水害の危険性のあるエリアに今後新築及び増改築する場合は、基礎の高さを浸水高さより高く設計するように制限を掛ける（基礎費用増を補助する）。
- ②既存の住宅に対して家屋を持ち上げ基礎を嵩上げする様に指導する（この場合も費用の補助をする）。
- ・早急に茂原市も積極的に進めるべき！！

**「②雨水貯留施設（雨水貯留タンク、雨水浸透枺）の設置促進にあたり、設置数増加のために有効と考えられる対策をお選びください。（複数回答可）」の自由記入欄**

- ・敷地面積、建築面積を基準（あると思うが）で計算し、補助率の引き上げ、補助限度額の引き上げを！！ 不動産業者、建設業者への周知については、建築請負時に説明を強く要請。
- ・個人等にも有効性（メリット）等のPR活動の実施。
- ・一時の雨のために貯留施設は無用の長物になると思いますので各家庭にまで普及することに反対です。無駄使い。
- ・“個人”として対策するとなれば、個人の生活水準を考慮する必要がある。
- ・自費負担の話し合いを要す。
- ・これから住宅を建てる場合、不動産業者、建築業者へ雨水貯留施設の設置促進の周知を図る。
- ・個人で対応可能策として有効であるが、設置のメリット等、周知が十分ではないのでは。
- ・あまり効果が得られないと思う。
- ①雨水貯留タンクは既製品の購入だけでなく、容量を満たせば制限を掛けない（手持ち品でも補助OKとする）。
- ②この程度の方は素人でも施工可能である、施工条件を掛けずに補助をする。
- ③一般的に貯留タンク等は常に満水状態が多い、効果を発揮するには常に空にしておき、大雨の後半から貯留するようにソフト的な指導も必要。
- ④広報もばらに掲載PR等々。
- コメント：本案件は河川増水対策には効果少ない？

**「③「宅地開発等における貯留対策の基準」について、どのように考えますか。」の自由記入欄**

- **近年の異常気象による降雨量の増加に備え、開発基準（規制）を強めるべきである。**
- ・二宮地区の鳩川委員提案（県の開発基準における1ha以上の開発行為の調整池容量1,600m3以上について下限値を上げる）のように基準を引き上げるべき。
- ・貯留施設の構造によりメンテナンスも異なるので維持管理が必要。既存の公共施設に設置することも考えた方がよい。
- ・市全体として安心安全を第一に考えると、開発基準（規制）を強めるべきである。
- ・近年、大雨による土砂崩れが多く起きている。開発基準の見直しが必要。安全第一に開発が行えるように指導すべき。
- ・排水基準については、流末河川の流下能力に応じ抑制基準を設ける。市の開発に対する指導は要綱であると思われるが、もっと強い指導を望む。
  
- **企業進出や不動産開発の停滞による地域経済への影響、地域人口の減少等が懸念されるため、強めるべきではない。**
- ・新治に工業団地を誘致したことを残念に思います。日立工場を有効に出来ないかと案じてます。茂原の商店街復活のためにも。
- ・大規模な住宅地他土地開発等で急激な雨量に対する、調整池の設置等洪水対策を条件（条例等で徹底する）づける。

## 2) 今後、茂原市域の流域治水を進めるにあたり、ご意見等があればご記入ください。

- ・全体がWIN、WINになるように！！
- ・河川の流下能力を超える降雨が多く発生することが想定されるので、発生した場合の減災の観点を住民が認識できるよう、啓発活動が重要となってくると思います。
- ・本日の分科会での意見・質問が今後の計画に反映されるのか疑問を感じます。本日の参加者が行政側も含めすべて男性でした。女性、高齢者、身障者などの意見も吸い上げていただきたい。
- ・内水対策をよろしく願います。コスト削減のため、発電機の設置は不要です。
- ・浸水した区域は地域全体を嵩上げしたらどうでしょうか？また、中の島ごみ焼却場先の調節池は効果的で評価していますが、さらに睦沢寄りの猿袋地区も調節池として活用できるのではないかと思います。
- ・現在の一宮川を改修（幅を広げる、底を深くする）などのほか、江戸川の横を流れている江戸川放水路のように、一宮川放水路のような川を造設するのはいかがでしょうか。家の周りというよりも市や近隣地域が“池”のようになっているため、ぜひ前向きにご検討願います。※川の水がスムーズに海へ流れ出るようなイメージで考えていただきたい。  
(例) トイレ
- ・法面の木・竹・草等の管理を定期的実施する様にお願いしたい。
- ・本会議で説明されたことは、現予算で仕方ないと思いますが、今後、もっと大きな災害が起こると思われるので、先を見据えた流域治水を進めるべきだと思います。  
(いろいろな災害を見据えたもの、対応できるもの)
- ・流末河川の整備も大事な要件と思いますが、内水対策についても十分配慮願いたい。
- ・自治会では毎年数回、水路・道路側溝の清掃を行っておりますが、河川への負担を軽減させる雨水調整池については、土砂の堆積、雑草が繁茂する前に最低年1回の管理を望む。(自治会でも協力いたします。) 業者に発注すること無く、職員で対応可と考えます。
- ・流出抑制につながる、里山の再生についても、河川整備と併せて取り組んでいただきたい。
- ・私たちの意見はどうしても、自分たちが被害を受けなければOKとなりがちです。市が進めている対策は全体を見渡し公平な基準で進めているものと思われる。そこで一つ教えてほしいのは、「何を基準」としているか知りたいです。そうする事で我々も、もう少し公平な見方ができると思われます。
- ・十分(充分)な調査を行う。
- ・田んぼや畑の休耕地を貯留池として活用できないか？
- ・流域治水を進めるにあたっては、長南、長柄、睦沢町の協力を得て、一宮川・各支川に水川を設け、河川を中心とした治水を考える。それでも治水が不十分であれば、計画的に田に貯水する。最終的には調節池を掘り下げ、貯水量の増大を図る。
- ①現在進めている広域に渡る治水対策は有効である(多くの地域住民が洪水対策に関心をもち対応して貰う)。最低でも10月25日の豪雨がカバー出来る対策が必要。
- ②河川に架かる架橋で堤防の上面より橋桁が1M以上下がっている橋が有り、河川の増水時に流水のボトルネックになり越流の要因になっている、橋桁の持ち上げ対策も重要である。
- ③既存の調整池、今後進める田んぼダム、将来上流域に必要とする調整池(ダムのもの)はその機能を充分発揮出来る様に設計・計画をお願いしたい(例えば現状では調整池が満杯状態の後に下流の堤防から越流し浸水被害が起こっている、下流の越流に対して最大限の時間差を持たせて降雨の収束を待てる様にする)。
- ・他の地区の事例を参考にして、出来ることから進めて欲しい。
- ・茂原市流域だけでなく、一宮川全流域での田んぼダム化を目指せないか。農水省にも協力してもらい、ほ場の田んぼダム仕事業の新規創設(国庫補助事業)、新規のほ場整備事業には田んぼダムを前提に、畦畔や道水路法面の補強が実施できるようにし、既に圃場整備済の地区については田んぼダムができるように、道水路や畦畔の法面保護等を主体に、一定の面的に施工できるようにする。そして、このことは、流域治水が必要な地域においては、全国的にその需要があると思われる。  
(地域治水防災事業の新規創設要望)

## 3) 「河川整備等の進捗状況について」ご意見等がありましたら、ご記入ください。

- 明治橋～明光橋間の側道が全面通行止めになっている。工事区間のみに限定できないか。
- 最大限の努力をしているものと認識しています。
- 計画通り進めていただければ安心です。堤防の草刈りを自主的に行っていますが、高齢化等で今後の作業が不安です。行政で対応していただければと思います。
- 現行の河川工事に期待を寄せてます。川幅も広くなり、河らしくなり、更に桜並木とつつじ並木とのロケーションは期待は大きいです。更にまた、サイクリング並用は健康都市茂原の知名度は高くなります。
- 整備等がやや遅いようにも思えますが、完成目標に対して遅くなるのが予想される場合、県や国を巻き込んでいくのも一つの方法かと思います。
- 各戸家の思いは有ると思いますが、関係機関、担当者は大変と思いますが頑張ってください。
- より早い完成を希望します。
- 田んぼダムの流域拡大と早期実施を願います。
- 茂原市の水害は過去5～6年周期で水害に見舞われているので、河川整備工事等もそれにあった工期が望ましい。自治分科会の質疑の中で10ケの玉を毎年ひいて、うんぬんの話があったが、それは統計と確率の話と思うが、一宮川では5～6年周期であれば、6ケの玉から1つを引くと言ったやり方が現実的である。
- 進捗状況の意見では有りませんが内水対策について、素人的な質問です。長清水、梅田川の内水対策で、豪雨時に一宮川の水面が満杯で、また内水側も増水状態になった場合、排水ポンプ（大型ポンプ）から高圧力で排水した場合、その勢いで対岸（左岸）の堤防から水が溢れると思われるが大丈夫ですか？。他の内水対策の排水ポンプではどの様になっていますか？。
- 出来るだけ早い時期の整備を進めて下さい。
- 河川整備はもちろんだが、地盤沈下対策についても考えるべきではないか。何故、地盤沈下が現在進行形なのか。原因は水溶性ガス（天然ガス）の採掘か？かん水は井戸に戻しているというが、古い井戸はそんなことができるのか。いずれにしても地盤沈下の原因は何なのか。